

石垣 優香

日本生命

結果が出ない時期があつた。自信がついて、プレーが変わった。

JAPAN
TABLE
2014

頑張らうと思いました。

——代表になるのは2012年ドルトムント大会以来となりましたが、発表から大会まではあまり期間はなかったわけですが。

石垣 今日は日本開催ということで、ドルトムント入会とはまったく違うと思っていました。例えもみさんの期待であつたり、応援の雰囲気であったりとか。そこをイメージして毎日練習しました。

——話は戻りますが、ここ1、2年何か悩んでいて、思つよくなプレーができていました。例えばみんなさんの期待であつたり、応援の雰囲気であったりとか。そこをイメージして毎日練習しました。

石垣 1年ぐらい全然勝てない時がありました。周りの方にもたくさん助けてもらひ、いろいろ試しながらやつっていました。正直、練習もしたくなかったのですが、うまくいきました。ただ、どうにかしよう、次の日はよくなるだろう、という気持ちで毎日練習できました。正直、練習もしたくなかったです。



オランダ戦で勝利した瞬間。この表情が全てを物語っている

——という中でのプレーになりますが、プレッシャーは。

石垣 いろいろな方に、期待してもらいたい、言葉をかけてもらう機会が多くたので、プレッシャーもあつたのですが、それを力にできたのではないかなど今は思ひます。ここで勝てればまた自信につながるし、しっかり自分の役目を果たそうと思つてプレーしました。

——思い通りのプレーだったと思いまして。でも、3番の勝利は凄く大事になると思っていたので、絶対に取らなくてはいけないと思いました。そこからどうしたら勝てるのか、動搖はしませんでした。とにかく冷静に、とにかく冷靜にプレーしようと思いました。

——簡単に試合を振り返ってください。

石垣 ドイツオープンの時と同様に、促进ルールになりました。その時は、相手の変化がわかつていないので、全部スマッシュで決めようとしてしまいました。今回は、前回の敗因を活かしました。

石垣 私はトップで負けてしまい、次の試合に備えて、練習場で準備をしていました。練習場には得点だけを知らせるテレビが置いてあるのですが、3番の平野さんが負けそうになつていて、キツいかな、と思っていたら、挽回。4番の石川さんも接戦になりましたが決勝点をあげてくれました。この時、本当にチーム全員の力で勝ち上がつて、るんだな、と改めて思いました。

——中国との決勝が決まった時はどういう心境でしたか。

石垣 決勝に上がれたことに感謝しました。守備にまわった時は、相手よりも多く返すんだ、という気持ちでした。

——正直な話カット対カットはあまり得意ではないと思います。なぜそこまで踏ん張られたのですか。

ですが。

合宿中から調子が良かつたので

ことがわかつてましたので、気をつけ

ました。この時に、自分がいろ

うやつてきたことは間違つてなかつた、という自信がつき、プレーも変わってきたと思います。

——ところで、世界選手権のタイプ戦ですが、絶対に勝たなければいけない

戦ですが、絶対に勝たなければいけない

います。

——準々決勝のオランダ戦ですが、相

手のオーダーに驚いたと思いますが。

——最初のメンバー発表の際、石垣さ

んの名前はなかつたわけですが、悔しさは

個人戦でしたら、少しチャンス

があるかな、と思つてましたが、今回

負けていたので、もしかしたらあるかなと少しは考えましたが、きっとないだろうと思いました。でも嫌な予感が的中してしまいました。

石垣 3月に負けたので、実際、やばいという気持ちというか、動搖はしませんでした。そこからどうしたら勝てるのか、とにかく冷静にプレーしようと思いました。

——簡単に試合を振り返ってください。

石垣 トップで李皓晴選手と対戦。自分で絶対に勝たなければいけない相手だと思っていました。自分自身の調子は悪くなかったのですが、相手が心強かったです。たぶん個人戦だったら勝てないかもしません。

——次は準決勝の香港戦。

石垣 私はトップで負けてしまい、次の試合に備えて、練習場で準備をしていました。練習場には得点だけを知らせるテレビが置いてあるのですが、3番の平野さんが負けそうになつていて、キツいかな、と思っていたら、挽回。4番の石川さんも接戦になりましたが決勝点をあげてくれました。この時、本当にチーム全員の力で勝ち上がつて、るんだな、と改めて思いました。

——中国との決勝が決まった時はどういう心境でしたか。

石垣 決勝に上がれたことに感謝しました。守備にまわった時は、相手よりも多く返すんだ、という気持ちでした。

——正直な話カット対カットはあまり得意ではないと思います。なぜそこまで踏ん張られたのですか。

——という中でのプレーになりますが、プレッシャーは。

石垣 今年の3月に、リー・ジェ選手に負けていたので、もしかしたらあるかなと少しは考えましたが、きっとないだろうと思いました。でも嫌な予感が的中してしまいました。

石垣 3月に負けたので、実際、やばい

——最初のメンバー発表の際、石垣さんは

個人戦でしたら、少しチャンスがあるかな、と思つてましたが、今回

は団体戦ですから、きっとロンドンオリ

ンピックメンバーが中心となり選考会で代表権を獲得した田代さんに、あと一人は誰かな、という心境でいました。

海外ではある程度納得のいく成績をあげていたと思いますが、全日本では良い成績をあげることができませんでしたから、選ばれなくても仕方がな

——最初のメンバー発表の際、石垣さんは

個人戦でしたら、少しチャンスがあるかな、と思つてましたが、今回

は団体戦ですから、きっとロンドンオリ

ンピックメンバーが中心となり選考会で代表権を獲得した田代さんに、あと一人は誰かな、という心境でいました。

海外ではある程度納得のいく成績をあげていたと思いますが、全日本では良い成績をあげることができませんでしたから、選ばれなくても仕方がな

——最初のメンバー発表の際、石垣さんは

個人戦でしたら、少しチャンスがあるかな、と思つてましたが、今回

は団体戦ですから、きっとロンドンオリ

ンピックメンバーが中心となり選考会で代表権を獲得した田代さんに、あと一人は誰かな、という心境でいました。

海外ではある程度納得のいく成績をあげていたと思いますが、全日本では良い成績をあげることができませんでしたから、選ばれても仕方がな

——最初のメンバー発表の際、石垣さんは

個人戦でしたら、少しチャンスがあるかな、と思つてましたが、今回

は団体戦ですから、きっとロンドンオリ

ンピックメンバーが中心となり選考会で代表権を獲得した田代さんに、あと一人は誰かな、という心境でいました。

大会後また国内で結果の出ない日々が続き、やがて格下の選手にまで負けがついた。

——福原選手の欠場は日本にとって大きいですが、私も責任を持つて全力で戦います」と「メソント。

「福原選手の欠場は日本にとって二つめ。代表を辞退するというハプニング。しかし、カット主戦型といふことから国際大会では活躍できるが、国内ではカット打ちのうまい選手が多く、思うような成績を残せない。

石垣選手は、2008年、2010年—TTFプロツアー、2011年モスクワで優勝し、将来を嘱望された。しかし、カット主戦型といふことで戦います」と「メソント。

苦しい日々が2年間続いたが、2012年ドルトムント大会(団体戦)の団体メンバーに選ばれた。だが、多く、思うような成績を残せない。

2009年の横浜大会は、代表に選ばれたが、2010年のモスクワ大会(団体戦)では、メンバーから外された。

苦しい日々が2年間続いたが、2012年ドルトムント大会(団体戦)の団体メンバーに選ばれた。だが、多く、思うような成績を残せない。

2009年の横浜大会は、代表に

選ばれたが、2010年のモスクワ大会(団体戦)では、メンバーから外された。

苦しい日々が2年間続いたが、2012年ドルトムント大会(団体戦)の団体メンバーに選ばれた。だが、多く、思うような成績を残せない。

2009年の横浜大会は、代表に